

ユニバーサルデザインに関するアンケート調査

平成26年9月 山梨県企画県民部企画課

県民の皆様ユニバーサルデザインがどのくらい認知されているかを調べるため、アンケートを実施しました。

1 アンケート調査の実施期間

平成26年5月9日～23日

2 県政モニター数

383人

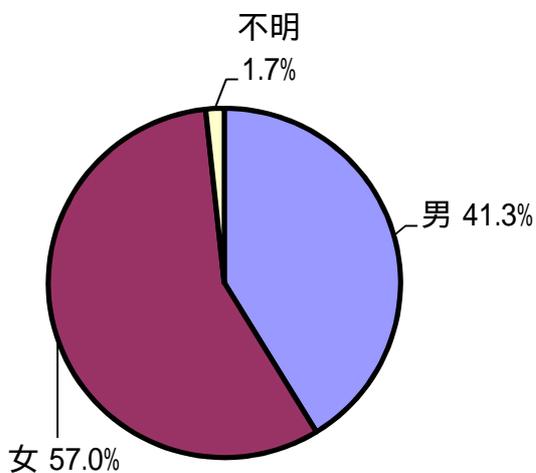
3 回答数

		調査数
(1) 郵送によるアンケート調査	238 人	(282 人)
(2) インターネットによるアンケート調査	65 人	(101 人)
	合 計 303 人	
	回答率 79.1 %	

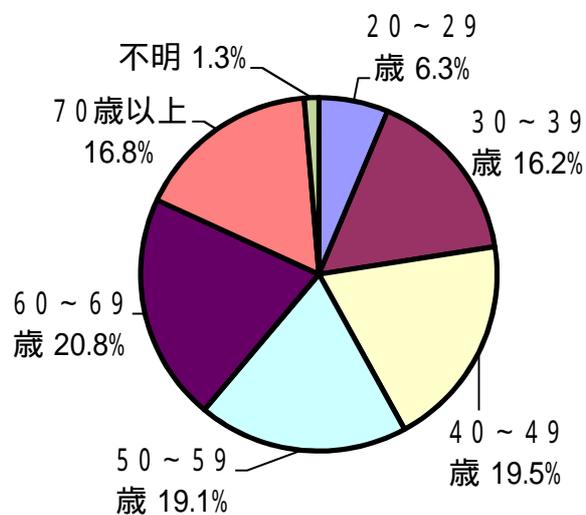
集計結果については、端数処理の関係で100%にならない場合があります。

4 回答者の属性

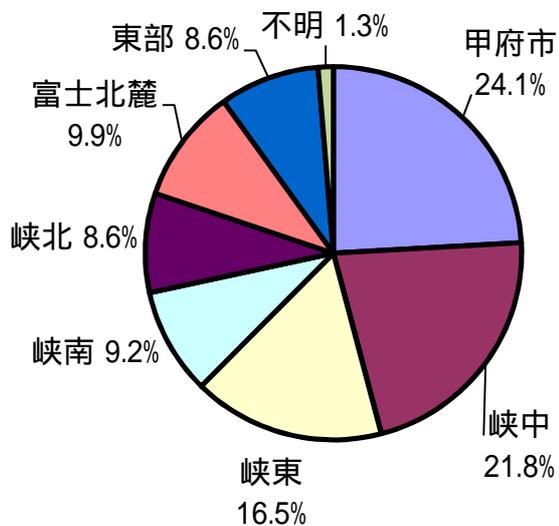
あなたの性別をお答えください。



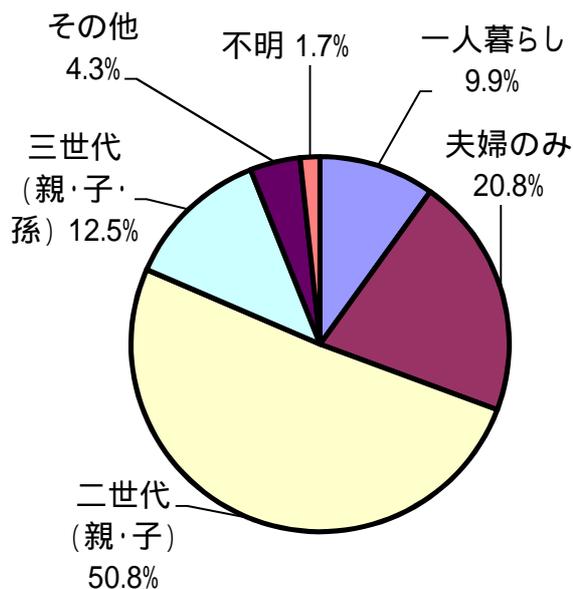
あなたの年齢をお答えください。



あなたのお住まいをお答えください。



あなたの家族構成をお答えください。



甲府市

峡中: 甲斐市、南アルプス市、中央市、中巨摩郡

峡東: 山梨市、甲州市、笛吹市

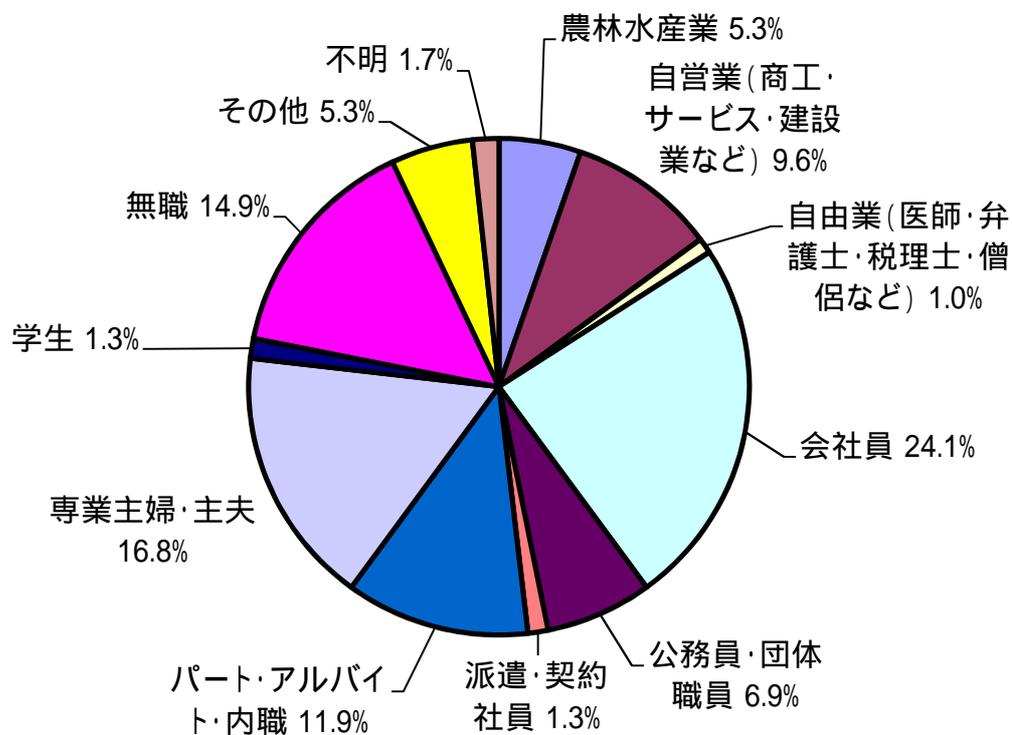
峡南: 西八代郡、南巨摩郡

峡北: 韮崎市、北杜市

富士北麓: 富士吉田市、南都留郡

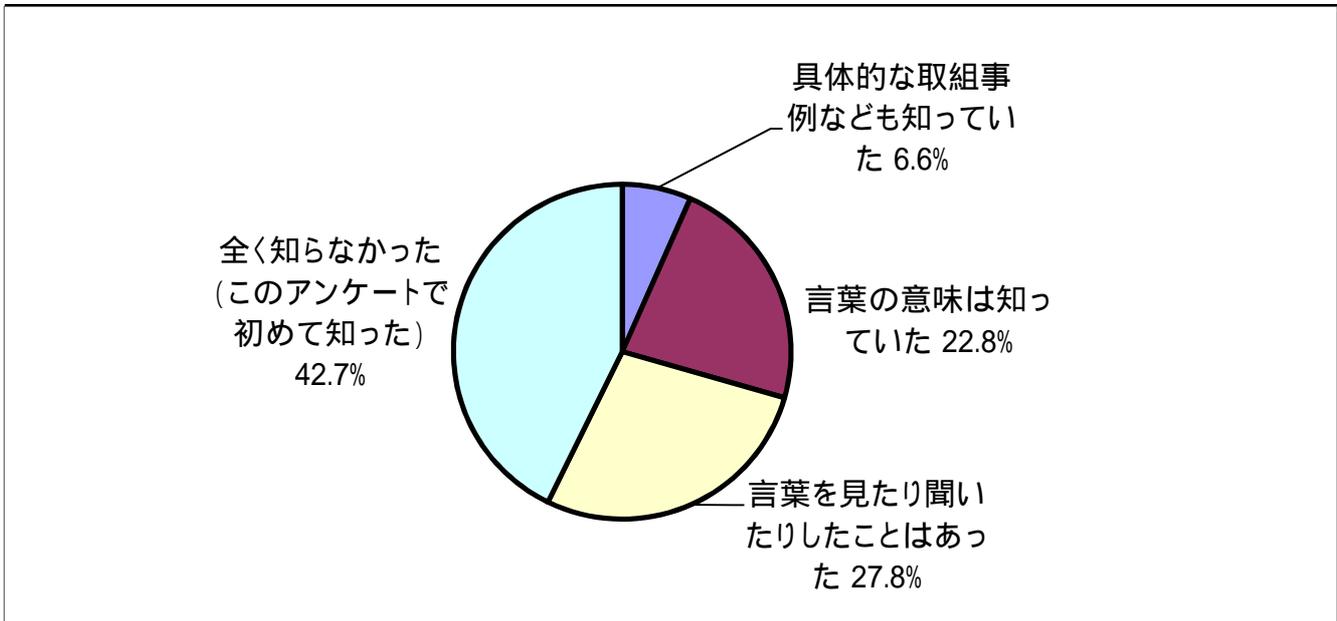
東部: 都留市、大月市、上野原市、北都留郡

あなたの職業（兼業の方は主な職業）をお答えください。

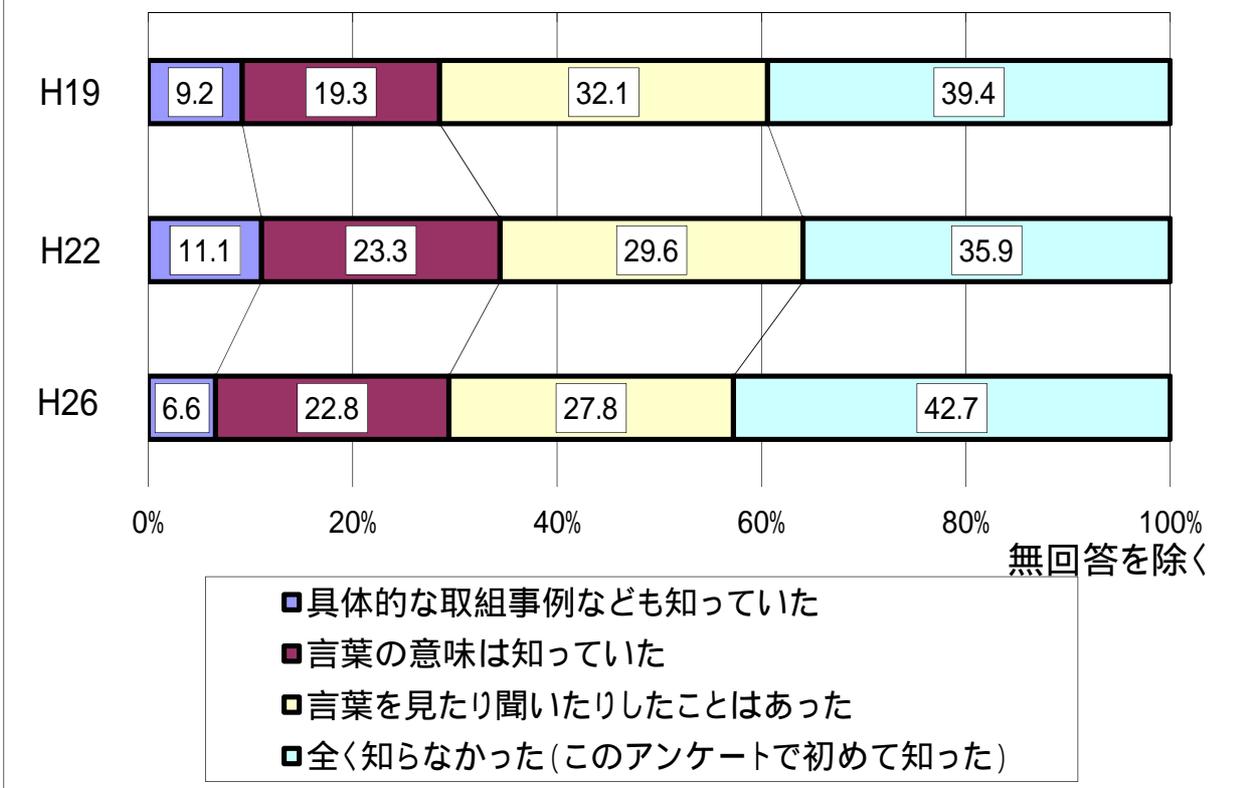


5 アンケートの集計結果

問1. ユニバーサルデザインとは年齢、性別、国籍、障害の有無など個人の様々な状況に関わらず、可能な限り多くの人々が利用できるデザインのことです。
あなたは「ユニバーサルデザイン」という言葉についてどの程度ご存知ですか。
(は1つ)

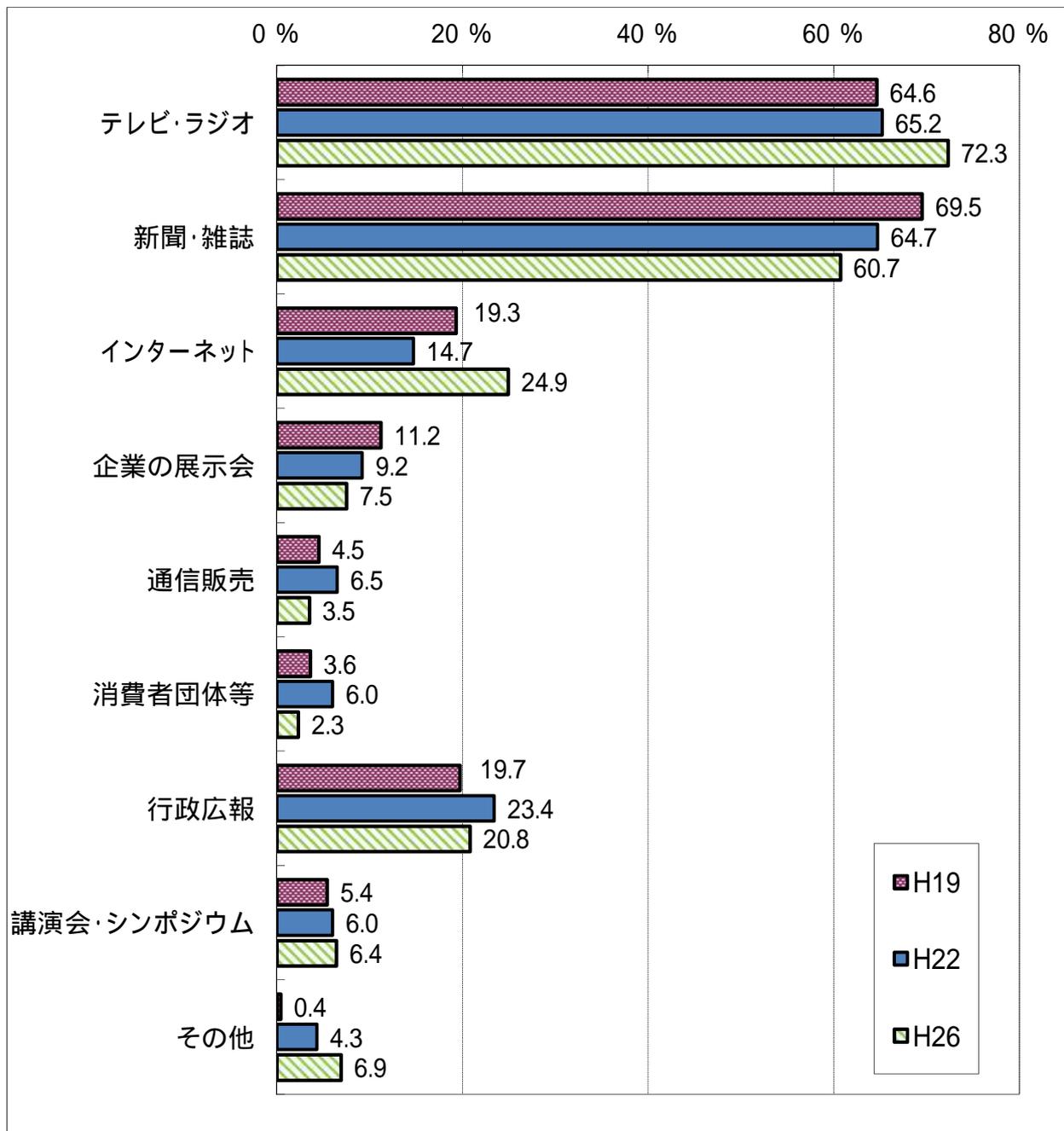


(参考) H19及びH22調査との比較



「ユニバーサルデザイン」という言葉の認知度については、「具体的な取組事例なども知っていた」、「言葉の意図は知っていた」を合わせると、前回調査(H22調査)との比較で5.0%の減、前々回調査(H19調査)との比較で0.9%の減となっている。

問2.〔問1で1～3と答えた方にお聞きします〕
ユニバーサルデザインに関する情報について、
どのようなところで見聞きしたことがありますか。(はいいくつでも)

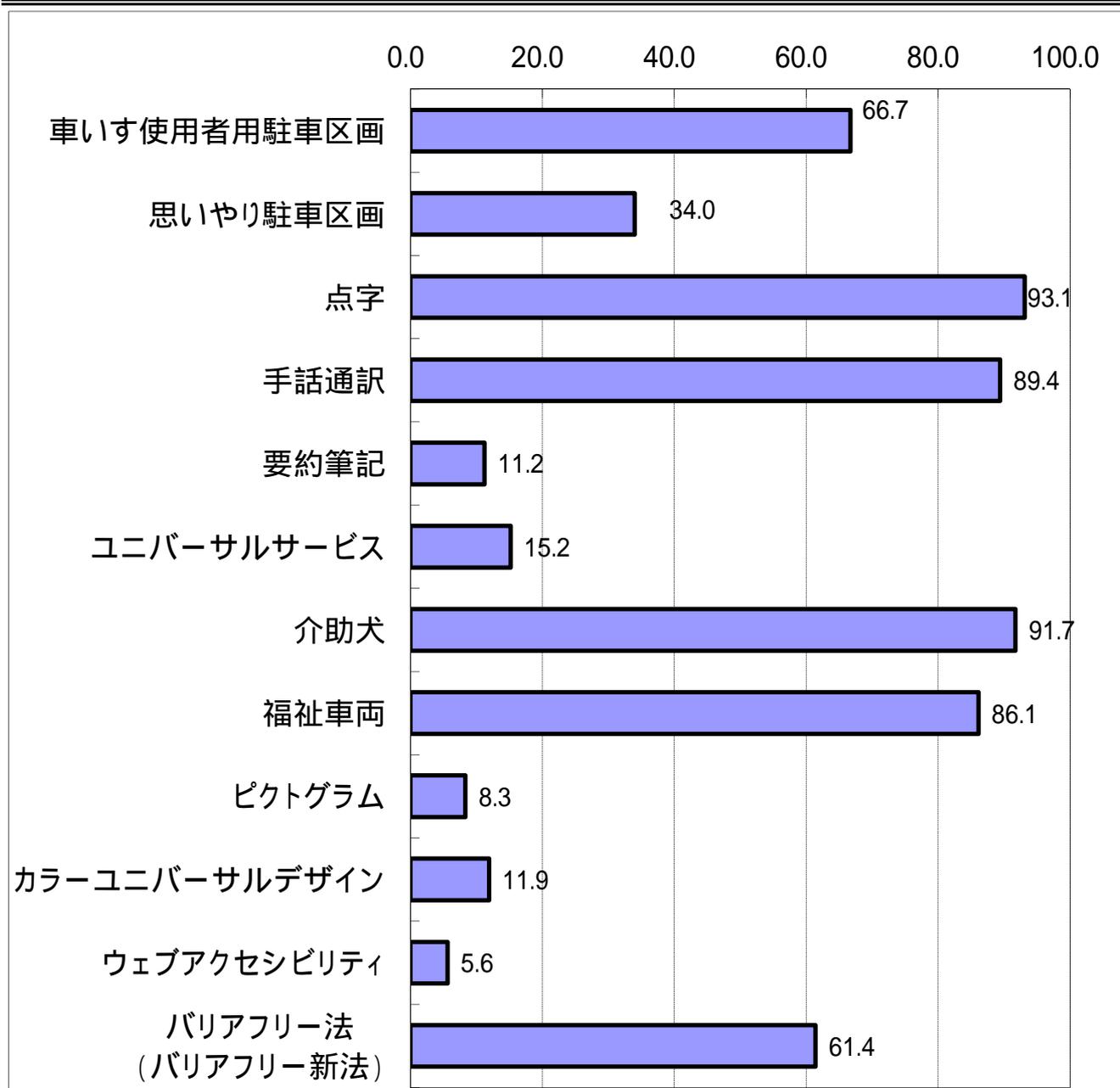


「テレビ・ラジオ」、「新聞・雑誌」からが過去の調査と同様に、主な情報の入手先となっている。また、「インターネット」という回答が、前回調査(H22調査)から大きく伸びている。

その他のご回答

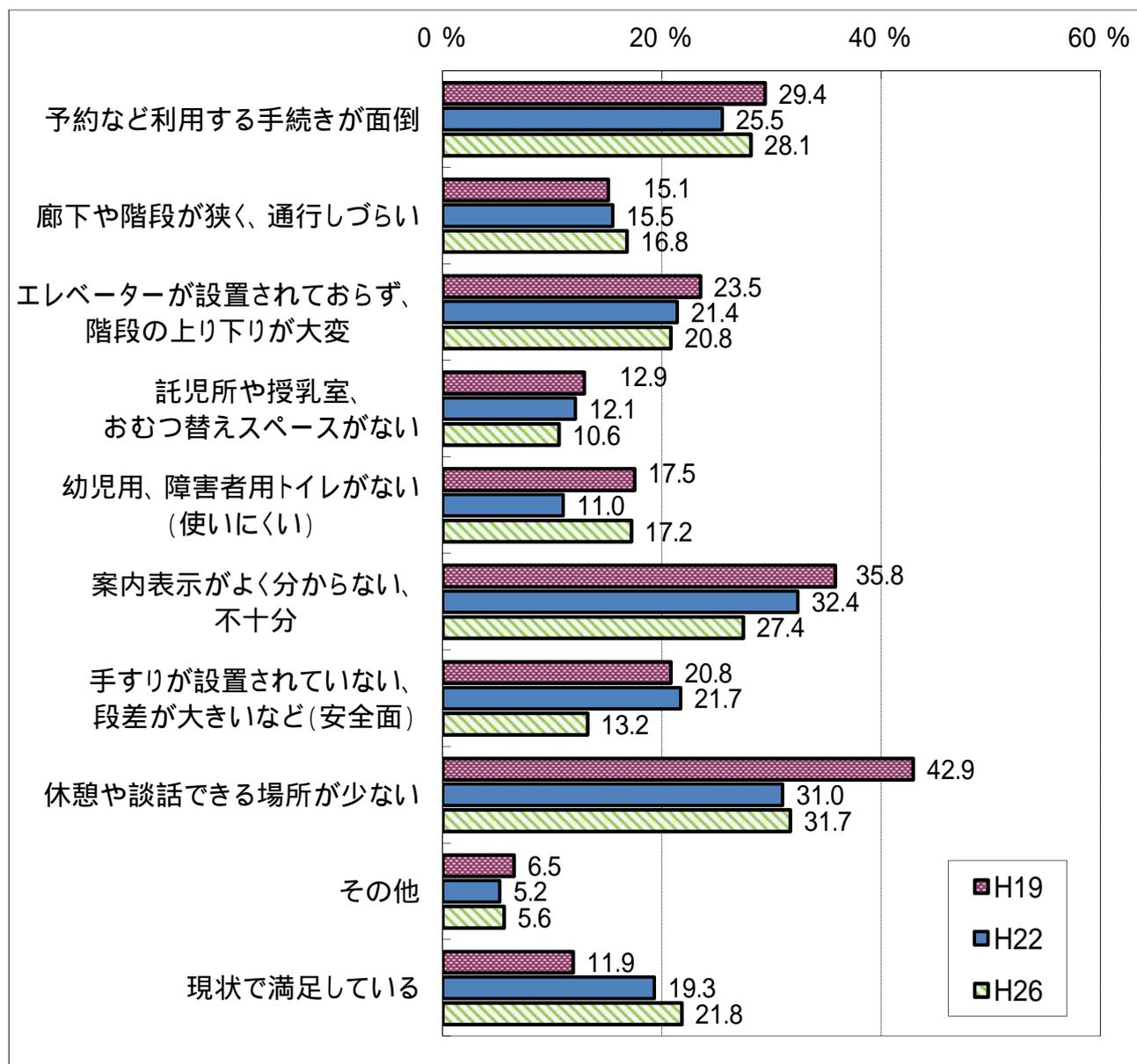
- ・学校の授業で習った
- ・社内研修で学んだ
- ・街中で見かけた など

問3 . 次の言葉の中で名前を知っているものを選んでください。(はいいくつでも)



「点字」や「介助犬」は9割以上、「手話通訳」及び「福祉車両」については8割以上が「知っている」と回答しているが、問1の「ユニバーサルデザイン」という言葉の認知度で「具体的な取組事例なども知っていた」、「言葉の意味は知っていた」を合わせた回答は3割程度であり、このことから、個別事例と「ユニバーサルデザイン」という言葉が結びついていないと考えられる。

問4. あなたは、日頃よく利用する施設（公共・民間は問いません）において、困ったことや不便に感じたことはありますか。（はいいくつでも）

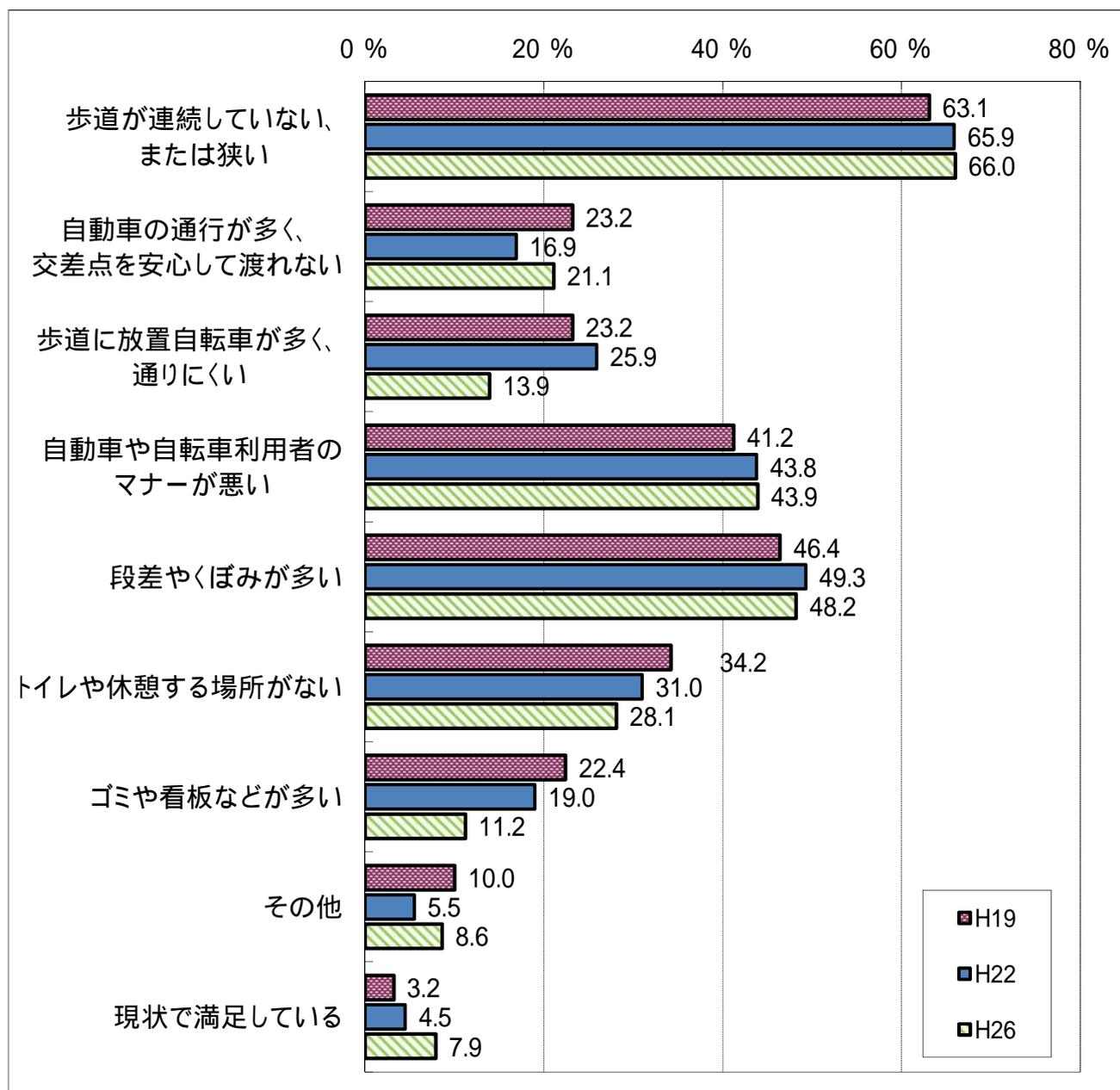


前々回調査（H19調査）で、回答が多かった「案内表示がよく分からない、不十分」、「休憩や談話できる場所が少ない」の回答が減少しつつある。また、「現状で満足している」の回答が増加傾向にある。

その他のご意見

- ・通学路に歩道が無く危険
- ・駐車場で隣の車との間隔が狭い
- ・予約不要で利用できるフリースペースが少ない
- ・照明が暗く、足下が見えにくい など

問5 . あなたは、日頃よく利用する道路の歩道について、困ったことや不便に感じたことはありますか。(はいいくつでも)

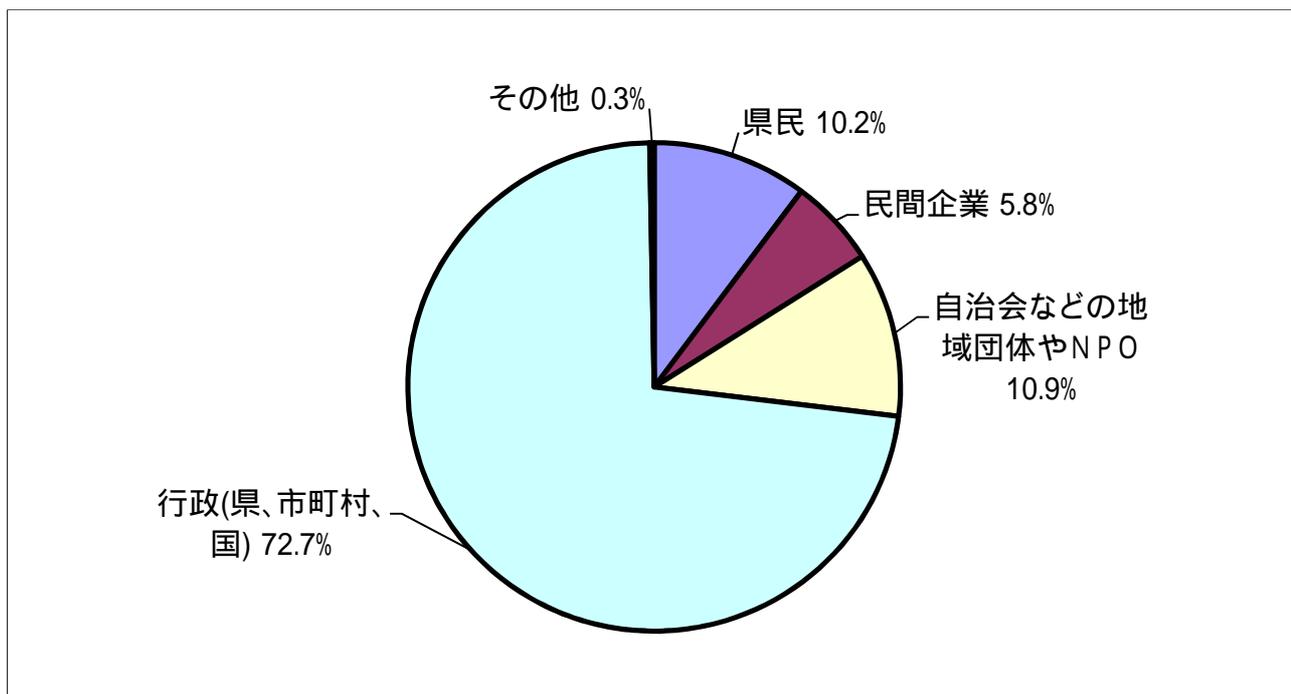


道路の歩道については、「歩道が連続していない、または狭い」、「自動車や自転車利用者のマナーが悪い」、「段差やくぼみが多い」の回答が依然として多い。

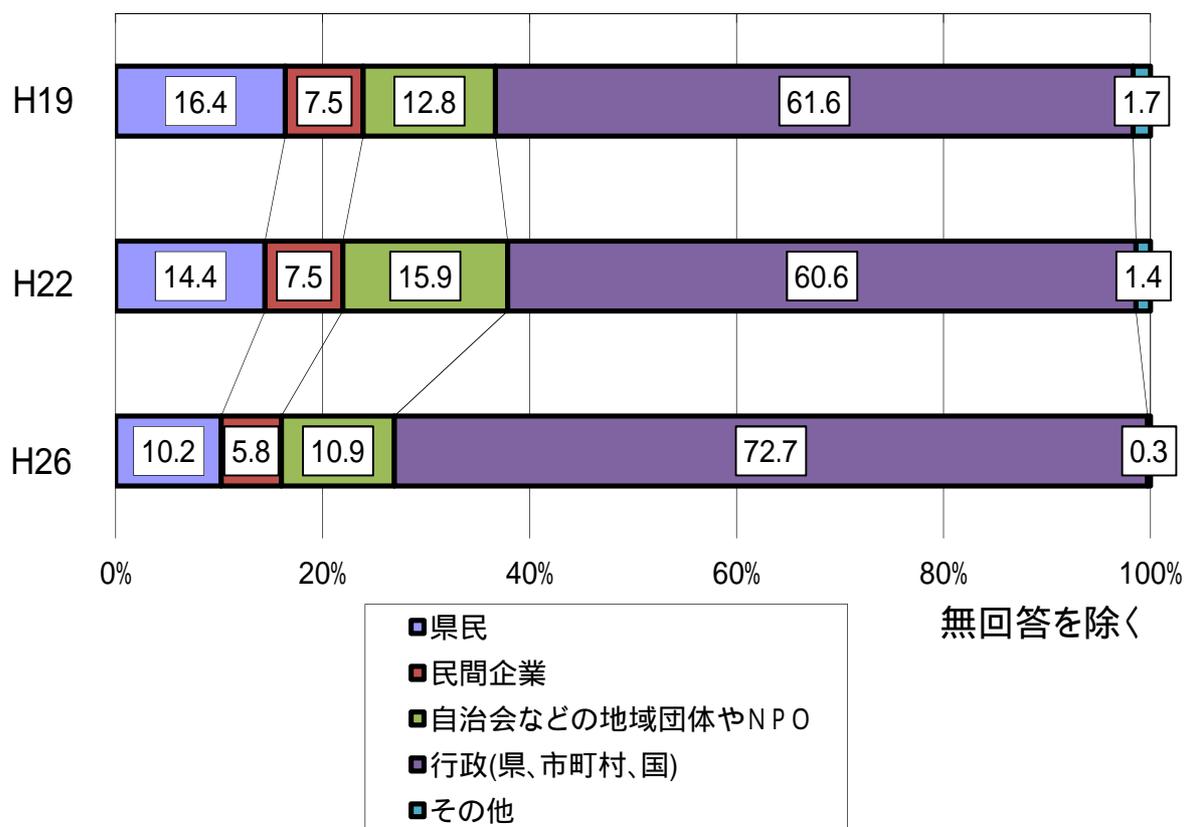
その他のご意見

- ・自動車を歩道に止めているケースがある
- ・歩道が整備されている道路が少ない
- ・自転車道がなく危険
- ・街灯が少なく危険
- ・歩道にある植木が障害になる場合がある
- ・点字ブロックへの認識が不足している など

問6. 地域でユニバーサルデザインを推進していくためには、どこが主体となるべきだと思いますか。次の中から一つ選んで下さい。(は1つ)

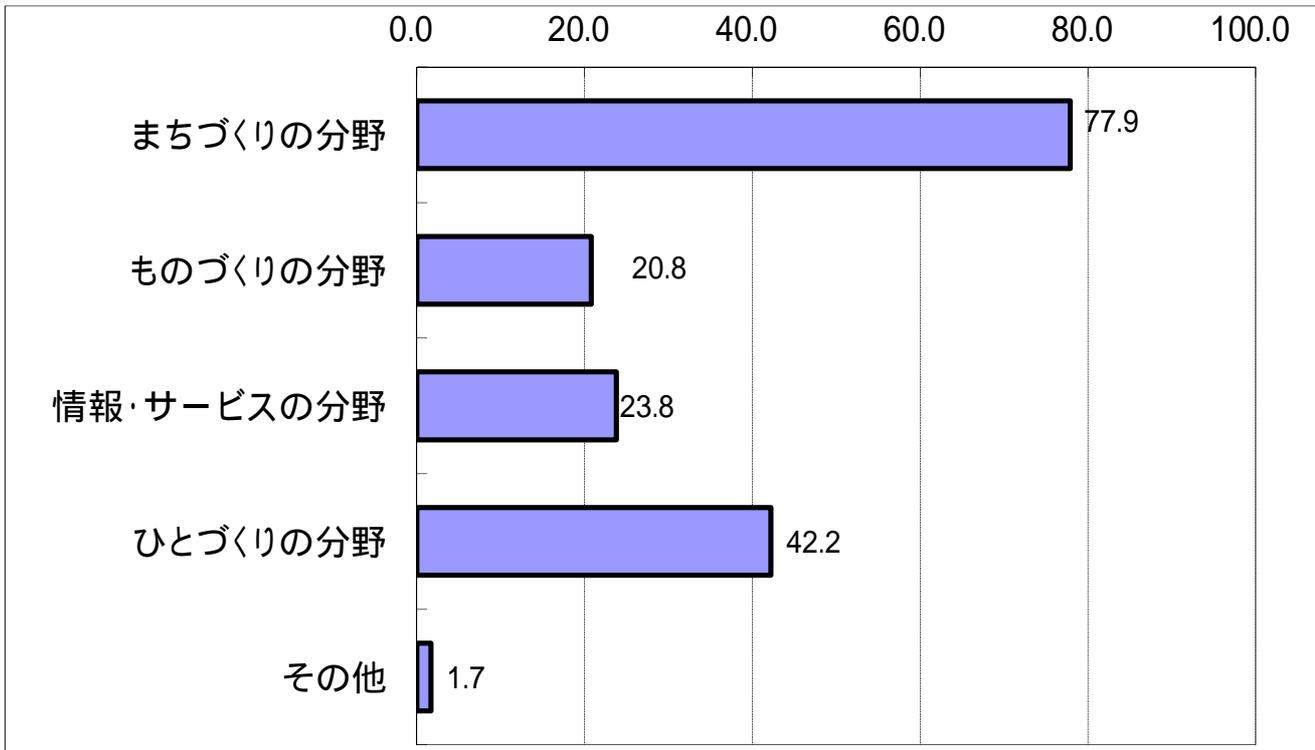


(参考) H19及びH22調査との比較



「ユニバーサルデザイン」の推進主体については、過去の調査と比べ、「行政(県、市町村、国)」の回答が増加し、行政が主体として期待されている。

問7. 今後、ユニバーサルデザイン（以下「UD」と表記します）の考えに基づく社会環境の整備を進めていくために、特に改善していく必要があると思うのはどのような分野ですか。（ は2つまで）

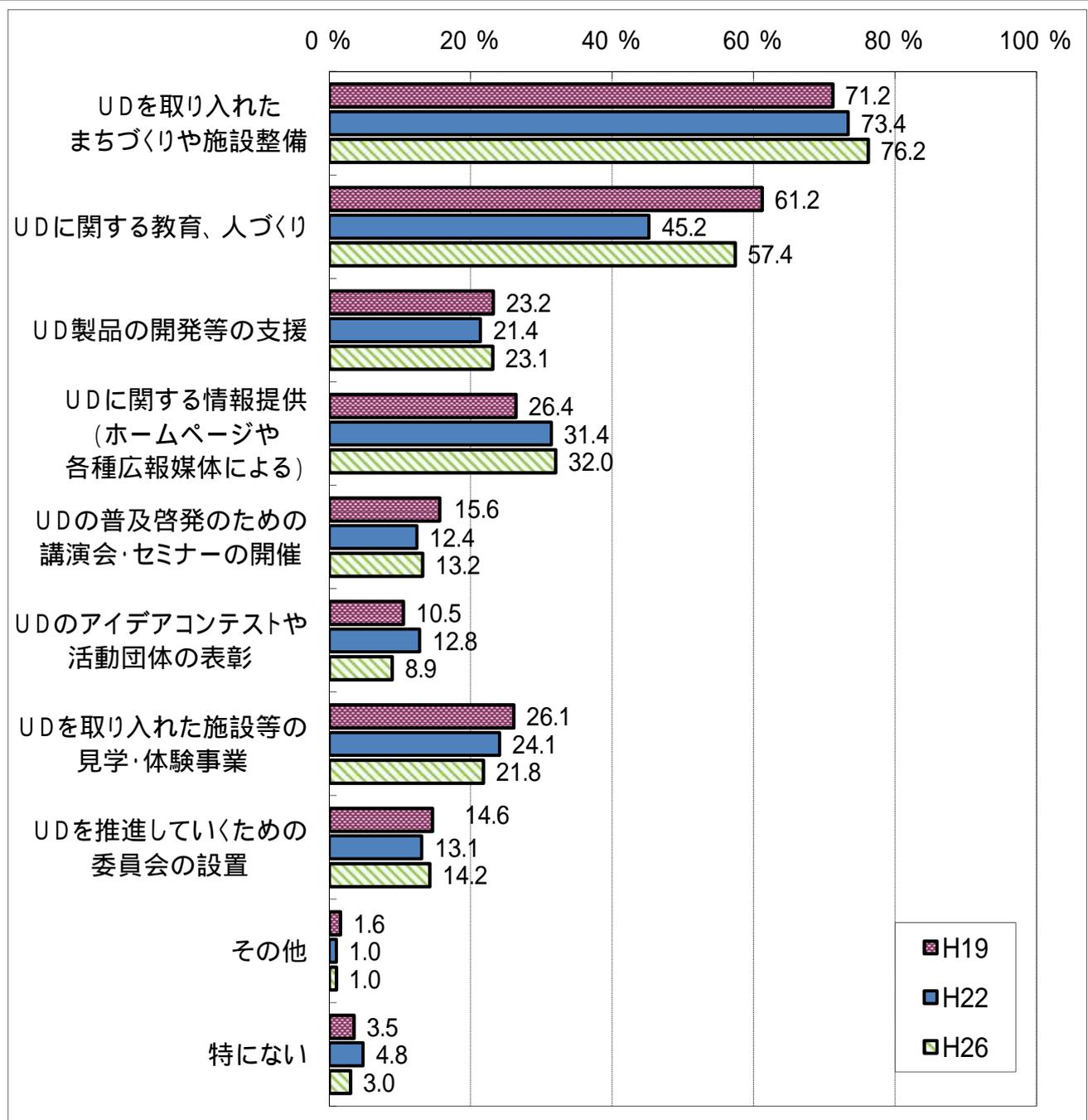


特に改善していく必要がある分野については「まちづくりの分野」の回答が7割を超えている。

その他のご意見

- ・観光地に外国語に書かれた掲示板を整備する必要がある
- ・電線を地下にして、電柱を無くして欲しい
- ・新聞やテレビなどを使ってPRするべき
- ・自転車道をできるだけ広く整備してもらいたい など

問8 . あなたはユニバーサルデザイン（以下「UD」と表記します）を推進していく上で、行政に期待することは何ですか。（ は3つまで）



UDを推進していく上で行政に期待することは、「UDを取り入れたまちづくりや施設整備」の回答が過去の調査と同じく7割を超えている。

また、「UDに関する教育、人づくり」の回答が、前回調査(H22調査)から10%以上増加している。

その他のご意見

- ・UDの意味を認知させていくことが必要
- ・UDの言葉自体を知らない
- ・UDを意識した公共施設であることを表示する など

問9 . 「ユニバーサルデザイン」のまちづくりをどのように進めていけばよいと思いますか。あなたの考えをご自由にお書きください。

主なご意見

- ・初めて耳にした言葉だが、活動そのものは大切なことなので、これから協力できればと思う。
- ・北欧の事例などを学んで、山梨にあったやり方で進めていって欲しい。
- ・実際に利用している人の声を聞きながら、本当に必要と思われる部分をきちんと選んでいくことが必要だと思う。
- ・全ては「思いやり」から始まるのだと思う。
- ・歩道が狭くて歩きにくい。
- ・個人に対するPR活動等が不足している。
- ・ユニバーサルデザインと言われた場合、若い人は問題ないかと思うが、年配の方にはカタカナ表記はなじみにくいと思う。もう少し分かりやすい言葉を使って進めていったら良いと思う。
- ・外国語で書かれた掲示板を観光地にたくさん設置すれば、外国から来た観光客にとって便利で良いと思います。
- ・地区の自治会などの身近なところから思いを拾い上げていったら良いのではないかな。
- ・まず「ユニバーサルデザイン」について知ってもらうことが第一だと思います。講演会等の開催で理解が深まれば良いです。
- ・行政を中心に企業からの協賛を得て、まずは自分の住んでいる町をもっと住みやすい快適な町にできたらと思います。
- ・人間は考え、自ら努力する場も必要。全てが与えられるまちづくりではなく、共に助け合えることが一番。地域で活動できる組織が必要だと思う。
- ・少子化が進む中で、安全な住みよいまちづくりが重要だと思います。誰に対しても優しく対応できる子供を育てて行くために、人材育成が大事ではないかと思っています。
- ・県民一人一人が参加できる場所を提供して色々な体感ができたら良いと思います。
- ・山梨は車社会だが、専用駐車場以外にも障がい者の方の意見を伺い、積極的にエレベーターやスロープなどを設置してもらいたい。
- ・ユニバーサルデザインという言葉も意味も知らない人がたくさんいると思います。もっと分かりやすく、大勢の人たちに知らせる必要がある。
- ・地域住民にとって住みやすいまちをつくるのが、ユニバーサルデザインのまちづくりになる。
- ・誰が見てもすぐに理解できるような標識や音声案内などがあると便利。
- ・今回初めて知ったので、これから自分で問題意識をもって考えていきたい。
- ・自動車道と歩道の完全分離など、道路交通環境の改善が必要。
- ・新しい施設や道路を建設する際には、あらゆる人が快適に使用できるという考えが必要。
- ・世界文化遺産である富士山があるので、観光客がたくさん訪れるところから進めていって欲しい。
- ・相手を思いやる心の教育がまちづくりの第一歩だと思う。
- ・ユニバーサルデザインについて学習し、理解を深める機会が必要。
- ・現在社会における、必須のコストとしての考え方が普及する必要がある。

など